

2015年5月18日

## 全国の住宅会社423社にアンケート 大手住宅会社にて窓台・バルコニーでの防水強化傾向

旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宇野真)は、全国住宅会社423社を対象にもっとも雨漏りしやすいと言われている窓周りやバルコニー周りでの防水仕様の実態調査を実施いたしました。主な結果は以下の通りです。

### <主な調査結果>

#### ■専用水切りシートの採用率は全体で25%、大手住宅会社では7割超

バルコニーの天端で採用する防水シートとして最も多いのは透湿防水シートという結果となり全体の65%でした。水切りシートの採用は全体の25%に留まりましたが、年間着工100棟以上の大手住宅会社では71%が採用しており、大手ほど専用水切りシートを採用している傾向が見える結果となりました。尚、窓台においても同様の傾向が見られました。

#### ■プラスチック成型品の採用率は全体で27%、大手では37%

バルコニーの出隅、入隅などの角部で採用する防水材として、46%の住宅会社がアクリルやブチルなどの防水テープを採用していると回答し、伸縮性防水テープを含めた場合、67%となりました。一方、昨今ではプラスチック成型品を採用する住宅会社も増え、全体の27%が採用し、年間着工100棟以上の大手住宅会社においては、37%が採用していることが分かりました。大手住宅会社ほどプラスチック成型品を採用している傾向が伺える結果となりました。尚、窓台角部においても同様の傾向が見られました。

#### ■74%の住宅会社が住宅防水の更なる向上を検討

「今後、取り合い部を含む防水下地の強化を検討しているか?」という質問に対して、74%の会社がYESと回答しており、住宅の防水性能はますます向上していくのではないかと考えられる結果となりました。

### <調査概要>

#### ■対象:全国の工務店、ハウスメーカーを対象とした423社

(タイベック®ユーザーサポートクラブメンバー及び無作為に抽出した住宅会社)

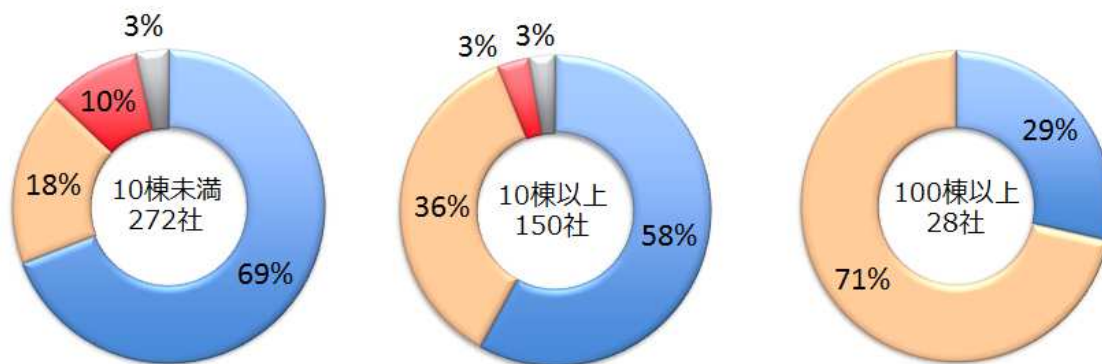
10棟未満	10棟以上	うち 100棟以上
273社	150社	28社

※年間住宅着工数ごとに表示

#### ■調査方法:ヒアリング又はアンケート郵送

#### ■調査期間:2015年1月~3月

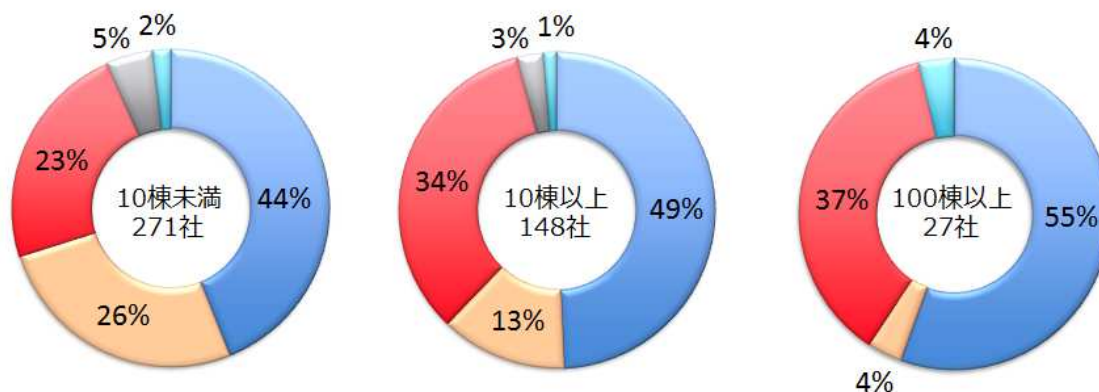
Q1. バルコニー天端で採用している防水シートの種類を教えてください。



■①透湿防水シート ■②水切りシート ■③屋根用ルーフィングを転用 ■④その他

バルコニーの天端は一度、雨水が浸入すると長年に渡って水が滞留し、雨漏りに繋がりがやすい部位と言われております。最近では透湿防水シートだけではなく、より防水性能の高い、専用の水切りシートを採用する住宅会社が増えております。その傾向は、大手住宅会社ほど高くなっており、年間住宅着工10棟以上の住宅会社では36%、100棟以上では71%が水切りシートを採用している結果となりました。尚、透湿防水シートと回答されている方の中には、ブチルテープやシーリングを併用し、釘穴止水などの処理を行っているものも含まれます。

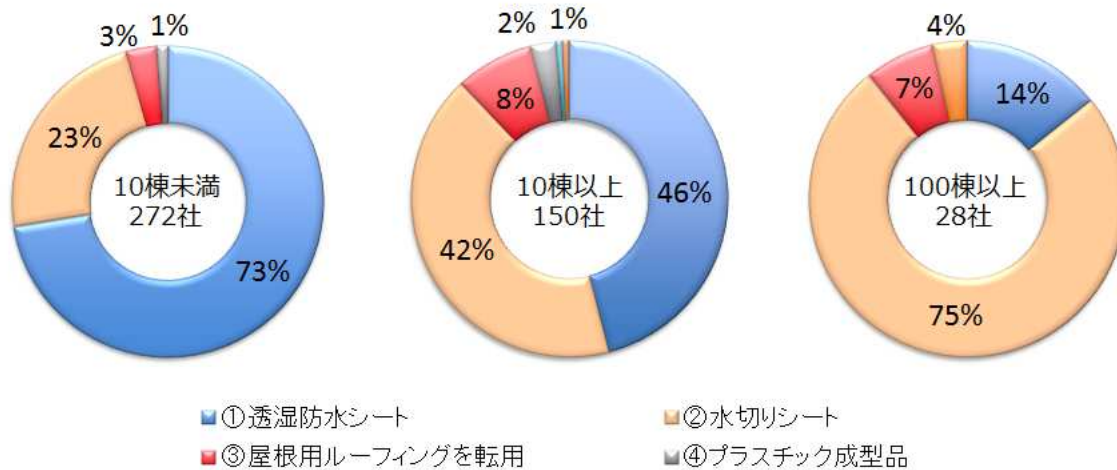
Q2. バルコニーでの出隅、入隅などの角部で採用している防水材の種類を教えてください。



■①防水テープ ■②伸縮性防水テープ ■③プラスチック成形品  
■④透湿防水シートのみ ■⑤その他

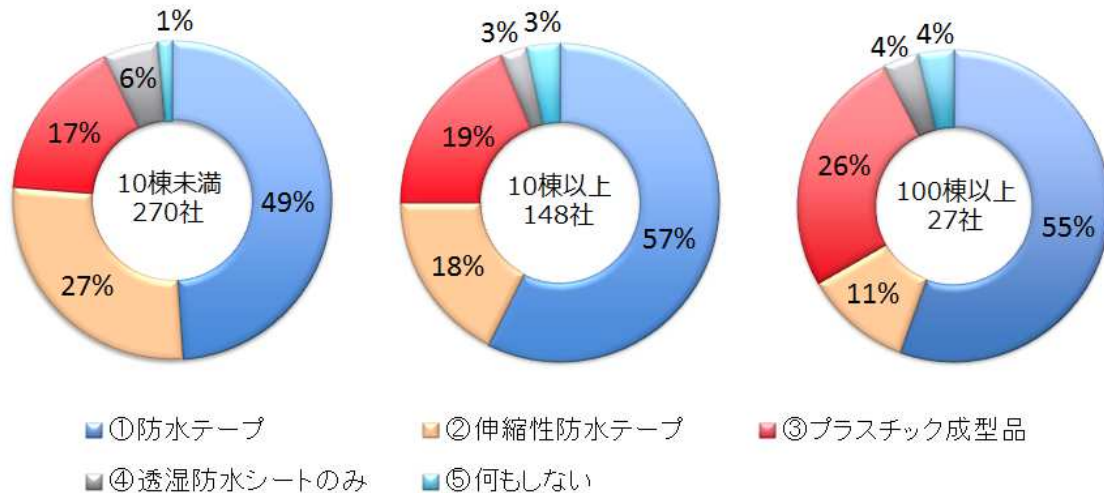
バルコニーの出隅、入隅や壁との取り合い部分は、ピンホールが発生しやすく、雨水浸入の可能性が高い部分になります。アクリル又はブチルテープのみでピンホールを完全に防ぐことが難しいため、伸縮性防水テープやプラスチック成型品を採用する住宅会社が増えています。特にプラスチック成型品については、大手住宅会社ほど採用率が高く、年間住宅着工10棟以下では23%の採用率でしたが、100棟以上では37%が採用されていました。

Q3. 窓台で採用している防水シートの種類を教えてください。



窓台はサッシ周りからの雨水浸入による雨漏りが発生しやすい部位です。その為、透湿防水シートを外壁に施工する前に、先行して防水シートを窓台に施工することが推奨されており、専用の水切りシートを採用する住宅会社が増えています。その傾向は、大手住宅会社ほど高く、年間住宅着工10棟以上の住宅会社では42%、100棟以上では75%が水切りシートを採用している結果となりました。

Q4. 窓台の角部で採用している防水材の種類を教えてください。



窓台角部は、ピンホールが発生しやすく、雨水浸入の可能性が高い部分になります。アクリル又はブチルテープのみでピンホールを完全に防ぐことが難しいため、伸縮性防水テープやプラスチック成型品を採用する住宅会社が増えています。特にプラスチック成型品については、大手住宅会社ほど採用率が高く、年間住宅着工10棟以下では17%の採用率でしたが、100棟以上では26%の採用率となりました。

尚、本リリース内容の転載にあたりましては、「旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ調べ」と表記頂きたいとお願い申し上げます。

【デュポン™タイベック®総輸入販売元】

旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社

所在地: 〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー11階

TEL : 03-5521-2600

FAX : 03-5521-2601

MAIL : [Tyvek.Japan@dupont.com](mailto:Tyvek.Japan@dupont.com)

タイベック®は、米国デュポン社が製造し、日本国内では旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社が総輸入販売元として輸入販売を行っております。旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社は、1995年にフラッシュ紡糸不織布の日本国内での販売を目的とし、旭化成せんい株式会社とデュポン株式会社の折半出資の合併会社として設立されたタイベック®の日本における総輸入販売元です。

タイベック®ハウスラップは日本の透湿・防水シートのパイオニアであり、30年以上の信頼と実績を誇ります。日本だけでも、400万軒以上(200㎡/軒として、1990年～2009年の累積出荷量より算出)の家で採用されています。

尚、2015年4月1日より透湿性水切りシート『デュポン™タイベック®フラッシングシート』及び伸張性防水テープ『ストレッチガード™』を新発売致しました。弊社は、これからも日本の住宅における防水・結露対策の向上を提案し、住宅の長寿命化に寄与できるよう努めてまいります。

<デュポン™タイベック®フラッシングシート及びストレッチガード™について>

<http://www.tyvek.co.jp/construction/product/wallflash/>

デュポン™およびタイベック®は、米国デュポン社の商標または登録商標です。

ストレッチガード™は旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社の商標です。